

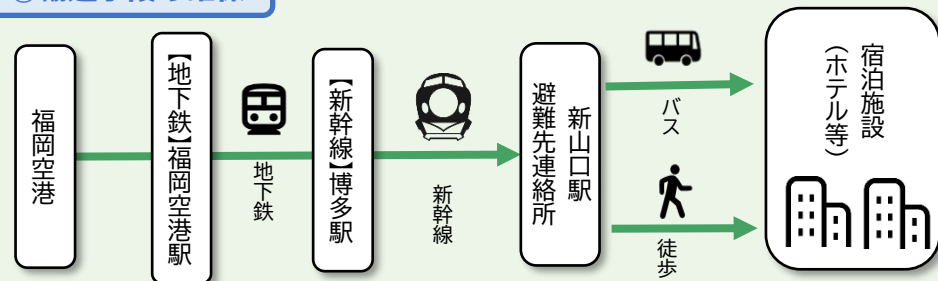
受入れに係る初期的な計画 概要【山口県】

○避難元市町村：石垣市(12,611人)

○受入れ市町村：下関市(6,006人)、宇部市(2,129人)、山口市(2,343人)
防府市(1,193人)、山陽小野田市(940人)

【山口市での受入れの例】※検討対象 白保地区 1,573人

①輸送手段の確保



福岡空港から避難先連絡所まで地下鉄・新幹線により輸送。
避難先連絡所から宿泊施設(ホテル等)までは、貸し切りバス又は徒歩。

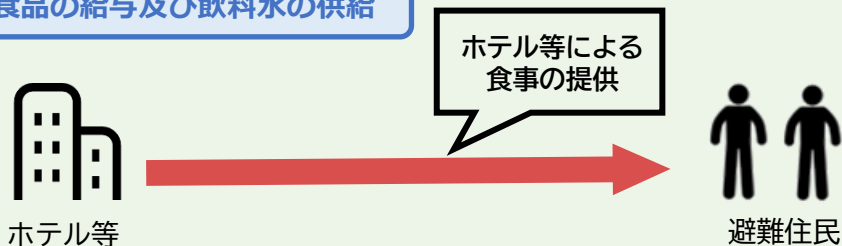
②宿泊施設(ホテル等)の供与

- 宿泊施設
新山口地区、湯田地区

【割振方針(原則)】
単身世帯・2人世帯はビジネスホテルタイプ。3人世帯以上は旅館の和室を配分。

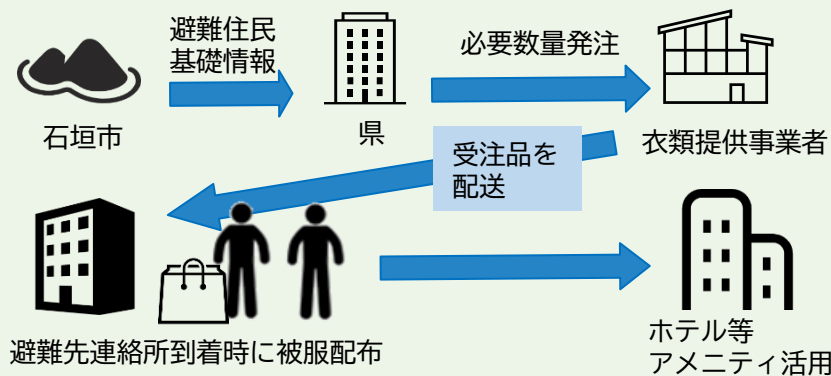
受入れ市内の宿泊施設事業者と連携し、避難住民を割り振り。

③食品の給与及び飲料水の供給



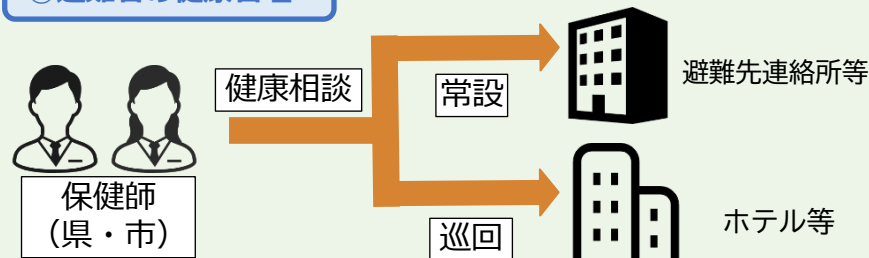
宿泊施設(ホテル等)による食事提供を実施しつつ。提供できない不足分については協定事業者と調整し、弁当等を手配。

④生活必需品の給与又は貸与



災害協定事業者の協力により、避難後の被服を確保。
歯ブラシや石鹸等は宿泊施設(ホテル等)のアメニティ等を活用。

⑤避難者の健康管理



県・山口市と協力体制を構築した上で健康相談を実施。
需要に応じて柔軟に人員の配置を行う。

⑥通信設備の提供

宿泊施設(ホテル等)で整備されている通信設備(フリーWi-Fi)を利用することを基本とし、必要に応じ通信事業者を通じ通信端末を貸与。